


# 新潟県栄養士会医療事業部

## 平成 30 年度関東甲信越地区研修会報告

日 時	平成 31 年 2 月 2 日 (土) 13:30~17:00
会 場	新潟テルサ 参加者数: 46 名
事業内容	<p>講演①「地域包括ケアネットワークと求められる管理栄養士のスキル」 講師: 日本歯科大学新潟生命歯学部 口腔外科学講座 教授 田中 彰先生</p> <p>講演②「管理栄養士の今後の展望について」 講師: 茨城キリスト教大学 生活科学部 食物健康科学科 准教授 石川 祐一氏 会員対話</p>
所 感	<p>田中先生の講演では、地域包括ケアの多職種連携の中で、他職種の取り組みについて把握する事ができ、その中で管理栄養士が出来ること、また何を望まれているかを痛感した。他職種連携が重要である事は勿論であるが、まず、同職種間での連携(情報・知識の共有)が大切であることを学んだ。病院を退院する際の栄養情報の提供を足がかりに、病院・福祉・地域の栄養士間で連携をすることが今後の課題であると感じた。</p> <p>石川先生の講演では、管理栄養士が今後生き残るために必要な先を見据えた仕事の仕方が大切であることを学んだ。例えば、栄養関連の診療報酬の獲得が必要であれば、それに見合う根拠が必要で、実態調査の協力や学会発表から論文作成などの過程を視野にいれて日々の仕事を組立てていくことで日々の業務の中から根拠を生み出す事ができるのではないかと感じた。</p>  <p>会員対話では、精神科病院入院中患者の栄養指導件数の入院中2回までの制限緩和についてや、同程度のマンパワーが必要な加算よりNST加算の点数が低い理由に関する質問など活発に質疑応答が行われた。</p>